

平成28年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比110.7%の実績でした。これは、顆粒剤工場が完成し、徐々に販売がスタートした事が主要因となります。

収益面では、経常利益は前年同期比3億9,000万円改善致しました。これは、上述した顆粒剤工場の製品販売がスタートした事、販管費のコントロールに取り組んでいるためです。

(事業運営面)

大型投資を行った、顆粒剤工場の安定立ち上げに注力しております。同時に、既存受託品目の受注量が増加しており、品質と納期を守りながら事業を進めております。

利益を出せるまでの間、販管費のコストコントロールに取り組み、販管費の大幅削減を実現しております。

○ 課題への取組み

・17年度黒字化のため、全社を挙げて様々な施策に取り組んでおります。

○ トピックス、適時情報

・広貫堂初の医療用薬品となる「フルスルチアミン塩酸塩顆粒10%廣貫堂」を出荷致しました。本製品は、医療現場の課題を解決するために開発された製品です。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第2四半期、平成28年4月～平成28年9月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	5,645,376	5,980,275	5,999,490	6,643,715
経常利益	-18,808	-167,134	-662,907	-265,780

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

呉羽顆粒剤工場が安定的に立ち上がり、予定されていた品目の承認が取れ次第販売されております。既存受託品目も好調で、グループとして売上高を伸ばす事が出来ております。

利益面では、顆粒剤工場の減価償却費が響き赤字にはなっているものの、前期からは大幅に改善しております。

来年度には顆粒剤工場がフル生産に近づいていくため、赤字は解消される見通しになっております。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第2四半期、平成28年4月～平成28年9月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	6,959,246	7,338,189	7,732,799	8,114,433
経常利益	106,077	-149,499	-727,589	-286,109

平成28年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

上半期に新製品1品目、リニューアル製品4品目を導入しましたが、売上高は前年同期比98.6%の13億3,900万円にとどまり、経常利益もマイナスで第2四半期を終えました。

(事業運営面)

配置市場のニーズに応じた企画提案・販売活動を積極的に推進し、また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組み、業績回復につなげてまいります。

○ トピックス、適時情報

第2四半期において、下記の製品を発売いたしました。

- ・ 植物発酵288 : 健康食品
- ・ 酵素と乳酸菌のちから : 健康食品

○ 業績の概況 (第2四半期、平成28年4月～平成28年9月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	1,478,955	1,349,665	1,357,795	1,339,067
経常利益	72,863	-25,705	-22,410	-54,551

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比97.38%の29億2,500万円となりました。

経常利益は前年同期比122.1%の3,700万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めていきます。

○ トピックス、適時情報

新発売(4～9月)

医薬品 胃腸薬 1アイテム、葛根湯内服液 2アイテム、滋養強壮内服液 1アイテム
食品 水素水 パウチ飲料 1アイテム、経口補水液ゼリー パウチ飲料 1アイテム

○ 業績の概況 (第2四半期、平成28年4月～平成28年9月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	2,562,402	2,530,061	3,006,628	2,925,190
経常利益	65,236	22,034	30,624	37,362

平成28年度
(第2四半期)
グループ各社

広貫堂グループ IR情報

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

前年同期8億4,200万円の売上に対し、昨年9月の4営業所閉鎖もあり7億7,100万円と7,100万円の減収となりました。しかし、年度当初からの営業所個別損益重視施策の効果もあり、交換薬損失の改善、雑費の軽減などから、利益面では△7,780万円から290万円と8,000万円の増益となり、黒字で折り返しました。

(事業運営面)

一方で、営業所別に見た場合、昨年対比売上をクリアできない営業所もあり、売上のマイナスとなり、また原価率の高止まりなど今後の展開として損益を圧迫する要因が見て取れます。そのため営業所別の課題を明確にし、本部サポートを行いながら下半期の注視ポイントとします。主な要因としては売上面では営業人数の確保の課題、損益面では小口販売、キャンペーン商品による売上原価の課題が考えられます。

○ トピックス、適時情報

前期に引き続き、基軸商品である六神丸、熊胆圓、ドリンク剤の愛用顧客作りを行い、下期の売上対策として葛根湯顆粒、入浴剤の配置による愛用顧客の育成に努めました。また前期よりスタートしたコラボレーション企画により新規獲得の仕組みにより約250件の新規顧客を獲得しました。

○ 業績の概況 (第2四半期、平成28年4月～平成28年9月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	1,005,809	869,074	842,279	771,135
経常利益	-68,490	-94,909	-77,852	2,980

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、前年同期比101.0%予算計画比97.7%となりました。経費面につきましては、年同期比104.6%と増加傾向にあります。経常利益は、264万円に対して△526万円となりました。

(事業運営面)

中元需要の取り込みに向けてサンリキソZⅡの置き込みを強化致しました。又9月から「補酵素の力」強化キャンペーンを実施致しました。

○ トピックス、適時情報

- 平成28年8月5日10:00よりトキワ廣貫堂第3回取締役会が開催されました。
- 平成28年7月に第一四半期を終えての総括会議を行いました。

○ 業績の概況 (第2四半期、平成28年4月～平成28年9月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	108,432	111,480	109,331	110,444
経常利益	-15,565	-13,954	-1,146	-5,268